

地球温暖化・オゾン層破壊ストップ 持続可能な社会を

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



13 気候変動に
具体的な対策を



世界は「自然冷媒」

2021年 脱フロン・低炭素社会へ

JLA株式会社は環境負荷のない炭化水素冷媒を通じ、より良い社会への貢献を目指します。喫緊の国際問題になっております地球温暖化の大きな要因のひとつであるフロンガスに代わり、炭化水素という新しい冷媒を全国へと普及・促進するための取り組みを、積極的に推し進めてまいります。

世界が結束して脱フロンへ

空調冷凍機の冷媒をはじめ、これまで広く使用されているフロンガスですが、近年はオゾン層の破壊や地球温暖化など地球環境に多大な影響を与えることが分かっており、先進国だけでなく新興国も含めて削減・全廃へ向けた取り組みが推進されています。日本政府は「温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする」方針です。



日本のCo2排出量は世界5位

自然冷媒とは？

より自然環境保護に適した、環境負荷の少ない冷媒ガスです。これらは元々自然界に存在するアンモニア、水、二酸化炭素、炭化水素等を原料としているため「自然冷媒」と呼ばれます。

地球温暖化防止が人類にとって非常に重要な課題である今、自然冷媒への転換が急務となっております。現在の使用されている冷媒の殆どはフロンガスと言われるもので、今まで安全性の観点から(不燃性)使用が当たり前になっておりましたが、地球温暖化係数が高いことから、自然冷媒への転換が求められています。

次世代冷媒として注目される炭化水素冷媒

フロンガスに代わる冷媒として炭化水素冷媒が注目されています。人工的に製造されたフロンガスと異なり、炭化水素冷媒は自然界にある物質なので環境負荷がほとんどなく、それでいて冷媒としての十分な性能を有することから、次世代冷媒の筆頭として期待されています。

世界各国で長年実績を積み重ねている安全性の高い炭化水素系冷媒は「裏面」



HCCハイドロカーボンチェンジ

冷媒機器消費電力 最大10~40%削減

炭化水素冷媒に切替4つのメリットとは？

オフィス・店舗工場等・事業所の電気代の中で一番占めるのが「空調・冷凍機」
その電力量をカットする事で、コスト削減！

**Point
01**

環境に負荷のないクリーンな冷媒

機器廃棄時などに正當にフロン回収が行われず、約7割ものフロンガスが大気放出されていることが大きな問題となっています。
炭化水素は自然由来の物質なので大気に放出されても環境を汚染しません。

02

機器はそのまま冷媒を入れ替えるだけ

炭化水素冷媒はフロンガスと性質が近く、入れ替えるだけで冷媒として作用するため、導入に際して大きな初期投資が最小限に抑えられ、既存の機器をそのままに省エネを実現します。

03

改正フロン法対象外 機器管理コストが不要

平成28年に施行された改正フロン法では、業務用空調冷凍機器の所有者に対し定期的な点検を行うことを義務付けられました。炭化水素冷媒はフロンガスではないので、法定点検が不要となりフロン点検管理にかかるコストを大幅に削減できます。

04

消費電力を約 10%~40% 削減

炭化水素冷媒はフロンに比べ、分子が大きく軽いという特徴があり、機器への負荷が低減される事で、消費電力の削減が期待できます。
※削減される消費電力は機器により変動いたします。

お見積致します！

ESCO リース及びファイナンス可能。導入をご検討の方は当代理店にお問合せください。

JLA株式会社

本社

〒984-0015

宮城県仙台市若林区卸町1丁目6-10 御町グリーンビル 2F

Tel 022-290-9873 Fax 022-290-9874

北日本支社

〒064-0808

札幌市中央区南8条西4丁目422-41 オリエンタルエミネンス 6F

Tel 011-596-9080 Fax 011-351-2742